

立川の魅力 短編映画で発信

立川市の魅力を市内外にアピールする短編映画「立川メリミー」が、10月下旬から、動画サイト「ユーチューブ」で公開される。立川市と関わりがある監督、出演者らによって、全編が立川市内で撮影された作品で、企画制作した立川青年会議所（JC）は「立川を広くPRすることで、地域愛をはぐくみ、地域の魅力の発見、再認識につなげたい」とアピールしている。

映画は立川市がウエディング関連施策の展開、ブライダル産業の振興を通じて来訪者、定住者の増加に取り組んでいることに注目してテーマ



立川市のプロモーションムービー「立川メリミー」のひとコマ（立川JC提供）

JCが企画「地域愛再認識して」



短編映画「立川メリミー」をPRする（左から）福山功起監督、中川夕香・立川JC理事長、窪田美沙さん、志茂田景樹さん —26日、立川市曙町

を選定。タイトルにも「メリミー（marry me）私と結婚して」とつけた。

ストーリーは「立川市に住む男性保育士が、同じく立川で暮らし、働く女性編集者に2人の思い出の場所で何度もプロポーズするものの、ふられてばかり。そんな時、『天使』と呼ばれていた小学校時代の先生を思い出し、アドバイスを受けて…」というもの。

ユーチューブで公開

ユーチューブにはダイジェスト版（1分半）を公開しているが、完成版は5〜8分に編集する。

監督はかつて立川に住んでいた福山功起さん。メンバ―候補生が立川でライブ活動を行っているアイドルグループ「仮面女子」の窪田美沙さんが女性編集者を、立川文学賞の審

査員を続けている作家でタレントの志茂田景樹さんが小学校時代の先生を演じた。

一般市民も参加

撮影場所は「国営昭和記念公園」、立川駅北口から多摩都市モノレールの高架下を北に延びる遊歩道「サンサンロード」「立川屋台村パラダイス」など市内各地。立川JCメンバ―や一般市民もエキストラとして参加した。

ダイジェスト版公開に伴う26日の記者会見で、志茂田さんは立川について「不思議なエネルギーを持つた町で、毎年、目につくほど変わっている」と指摘。窪田さんは「撮影のときに初めて来たけど、すごく榮えていて、住んでみたいと思った」と感想を述べた。一方、福山さんは「立川の撮影は難しい。良いところを自慢すると、見る人が引いてしまうから、あえて、控えめに撮影した」と撮影の難しさを振り返った。

立川JCはネットを中心に公開するほか、映像コンテンツに参加したり、ダイジェスト版を立川駅前の大屋根外スクリーンで放映することなどを検討。中川夕香理事長は「今後は立川JCの活動エリアである国立、武蔵村山市の盛り上げも考えた」。今回はそのきっかけになった」と語っていた。